



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 株式会社 丸順  
 コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今川 喜章  
 (氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	33,099	10.4	1,822	384.8	1,463	—	718	—
22年3月期第3四半期	29,980	△18.8	375	△74.1	10	△98.9	△646	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	73.53	—
22年3月期第3四半期	△66.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	33,737	8,311	17.1	591.17
22年3月期	37,349	7,983	14.9	568.64

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,773百万円 22年3月期 5,553百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	2.00	—		
23年3月期 (予想)				—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期末の配当につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどから、現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	5.1	1,900	100.0	1,500	224.9	600	—	61.44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	9,771,000株	22年3月期	9,771,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	4,818株	22年3月期	4,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	9,766,206株	22年3月期3Q	9,766,362株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国市場の需要拡大等に支えられて、緩やかな回復基調が続きましたが、景気刺激策の一巡等を受け、回復ペースが鈍化しました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内ではエコカー補助金終了後の反動により、販売は減少しております。また、海外では、中国において景気刺激策の効果もあり引き続き販売が好調であるほか、その他アジア地域の需要も回復傾向が続くと見込まれております。一方、国内における今後の生産は、各種施策の終了や欧米景気が低調に推移するなか輸出も力強さに欠けることなどから、先行きは不透明な状況になっております。

このような状況のもと、当社グループは、前年度からの取組みであるROA重視の抜本的経営改革を徹底して推進することで「ボトム生産体質」を構築し、今期末の業績黒字化によるV字回復を目指し各種施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33,099百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は1,822百万円（前年同四半期比384.8%増）、経常利益は1,463百万円（前年同四半期は10百万円の経常利益）、四半期純利益は718百万円（前年同四半期は646百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

#### (丸順)

丸順においては、主要顧客である自動車メーカーの生産が堅調に推移したほか、前期からの継続的な総費用削減施策により、設備費を中心に原価が改善いたしました。

以上の結果、売上高は13,679百万円、経常利益は212百万円となりました。

#### (タイ)

タイにおいては、自動車の販売・輸出が増加するなど景気は順調に回復しており、当社の主要顧客において増産が行われたため、生産活動は好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は7,211百万円、経常利益は246百万円となりました。

#### (広州)

広州においては、中国全体の経済環境の発展に連動する形で自動車需要も増加しており、当社の主要顧客において増産が行われたため、生産活動は好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は8,892百万円、経常利益は927百万円となりました。

#### (武漢)

武漢においては、中国市場の需要変化に合わせ、当社の主要顧客において生産機種構成について多少の変動はあったものの、生産活動は好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,990百万円、経常利益は178百万円となりました。

#### (四輪販売)

四輪販売においては、エコカー補助金終了の影響もありましたが、積極的な拡販活動の展開により、新車販売は堅調に推移したほか、コスト削減効果などにより、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は2,043百万円、経常利益は43百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、33,737百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,612百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が540百万円減少、受取手形及び売掛金が533百万円減少、仕掛品が150百万円増加、有形固定資産が2,644百万円減少、投資その他の資産が81百万円減少したことが要因であります。

負債総額は25,426百万円となり、前連結会計年度末と比較し、3,939百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が388百万円増加、短期借入金が2,464百万円減少、長期借入金が1,184百万円減少、リース債務が298百万円減少したことが要因であります。

純資産は8,311百万円となり、前連結会計年度末と比較し、327百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が679百万円増加、為替換算調整勘定が390百万円減少したことが要因であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期第3四半期(累計)の業績は、平成22年10月25日に公表いたしました連結業績予想に対して高い進捗率となりましたが、当社グループを取り巻く経営環境が、依然として先行き不透明であることを勘案し、修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1百万円、税金等調整前四半期純利益は39百万円減少しております。

#### ② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,114	1,654
受取手形及び売掛金	6,515	7,049
商品及び製品	360	393
仕掛品	1,084	934
原材料及び貯蔵品	717	597
その他	1,025	1,035
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	10,812	11,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,600	6,032
機械装置及び運搬具(純額)	5,379	6,233
工具、器具及び備品(純額)	5,085	5,446
土地	1,920	1,957
リース資産(純額)	1,308	1,834
建設仮勘定	1,418	1,851
有形固定資産合計	20,712	23,357
無形固定資産	138	176
投資その他の資産		
その他	2,090	2,172
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	2,073	2,155
固定資産合計	22,925	25,688
資産合計	33,737	37,349

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,988	5,600
短期借入金	7,960	10,425
リース債務	378	399
未払法人税等	121	104
引当金	173	232
その他	1,446	1,915
流動負債合計	16,069	18,678
固定負債		
長期借入金	7,280	8,465
リース債務	741	1,018
退職給付引当金	730	682
役員退職慰労引当金	87	84
資産除去債務	80	—
負ののれん	29	36
その他	406	400
固定負債合計	9,356	10,688
負債合計	25,426	29,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,398	3,719
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,369	5,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	419	487
為替換算調整勘定	△1,015	△624
評価・換算差額等合計	△596	△137
少数株主持分	2,538	2,430
純資産合計	8,311	7,983
負債純資産合計	33,737	37,349

(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	29,980	33,099
売上原価	27,050	28,579
売上総利益	2,929	4,519
販売費及び一般管理費	2,553	2,697
営業利益	375	1,822
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	11	15
為替差益	15	—
助成金収入	39	—
その他	35	39
営業外収益合計	107	59
営業外費用		
支払利息	464	339
為替差損	—	63
その他	8	15
営業外費用合計	473	418
経常利益	10	1,463
特別利益		
固定資産売却益	33	26
投資有価証券売却益	35	—
その他	0	0
特別利益合計	68	26
特別損失		
固定資産売却損	16	35
固定資産廃棄損	212	53
減損損失	6	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	38
投資有価証券評価損	136	6
割増退職金	216	—
その他	5	46
特別損失合計	593	182
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△514	1,307
法人税等	118	314
少数株主損益調整前四半期純利益	—	993
少数株主利益	13	274
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△646	718

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	プレス成形 部品事業	金型事業	自動車 販売事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	27,152	857	1,970	29,980	—	29,980
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	380	4	427	(427)	—
計	27,195	1,237	1,974	30,407	(427)	29,980
営業利益	670	151	25	847	(471)	375

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品または事業の内容

(1) プレス成形部品事業…… 車体プレス部品、精密プレス部品、樹脂製品、試作品その他

(2) 金型事業…………… 金型、治具・検査具

(3) 自動車販売事業…………… 自動車の販売・修理

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,497	15,482	29,980	—	29,980
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,020	32	1,052	(1,052)	—
計	15,518	15,514	31,033	(1,052)	29,980
営業利益	569	346	915	(539)	375

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

アジア……………タイ王国、中華人民共和国

## 【海外売上高】

前第3半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	15,549	15,549
II 連結売上高(百万円)		29,980
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	51.9	51.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ王国、中華人民共和国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営の資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、自動車販売事業である株式会社ホンダ四輪販売丸順を除き、主に車体プレス部品及び金型等の製造販売をしており、各子会社は製品の製造方法及び製造過程は概ね類似しているものの、それぞれが固有の顧客を有する独立した経営単位であります。国内においては当社が、タイにおいてはタイ・マルジュン社が、中国広州地区においては広州丸順汽车配件有限公司が、中国武漢地区においては武漢丸順汽车配件有限公司がそれぞれ担当しており、会社ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は会社別を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、会社別に「丸順」(当社)、「タイ」(タイ・マルジュン社)、「広州」(広州丸順汽车配件有限公司)、「武漢」(武漢丸順汽车配件有限公司)、「四輪販売」(株式会社ホンダ四輪販売丸順)の5つを報告セグメントとしております。

「丸順」「タイ」「広州」「武漢」は、車体プレス部品及び金型等の製造販売をしております。「四輪販売」は、自動車の販売及び修理をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	12,426	7,112	8,543	2,982	2,034	33,099
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,253	98	349	7	8	1,718
計	13,679	7,211	8,892	2,990	2,043	34,817
セグメント利益	212	246	927	178	43	1,609

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,609
セグメント間取引消去	▲121
その他の調整額	▲23
四半期連結損益計算書の経常利益	1,463

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。